第１回播磨町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会

１　開催日時　　令和８年７月 13 日（月）午後１時 30 分～３時 00 分

２　開催場所　　播磨町役場第１庁舎３階ＢＣ会議室

３　協議事項

（１）播磨町高齢者福祉計画（第 11 次）及び介護保険事業計画（第 10 期）について

（２）計画策定のためのアンケート調査結果報告について

（３）人口の推移と推計について

（４）その他

・次回策定委員会の開催日程について

４　議 事 録

事務局	１．開会 ２．播磨町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会の設置について ３．委嘱状の交付
町長	４．町長あいさつ 皆様、改めましてこんにちは。本当にお忙しい中、本委員会にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。 ２期目の初日に本委員会に出席させていただいたことは、本当に何か縁があると感じております。 高齢者福祉計画が第11次、介護保険事業計画が第10期の計画策定ということで、医師会・歯科医師会の先生方、介護事業所の方々、県民局、訪問看護ステーション、そして住民代表の方々など、様々な分野の皆様にお集まりいただいております。 私自身も今から15年ほど前に担当していたことがあります。その時代によって、計画の内容は変わっていくものと思います。現在は定期巡回事業を進めていきたいと考えておりますが、ニーズはあるものの介護人材不足により十分に進んでいかない現状があります。 私からも国への陳情などを通して働きかけを行っていますが、報酬改定で少し引き上げられたものの、まだまだ足りないというのが実情です。もっと国に訴えていかなければならない一方で、３年ごとの計画策定もきっちりと進める必要があるというジレンマの中で、本委員会を進めております。 ぜひ本日も忌憚のないご意見をいただければと思います。定期巡回など広域行政のもとで、県に取りまとめていただく部分が出てくるかと思いますので、播磨町に対しても「もっと頑張れ」と叱咤激励をいただければ幸いです。保険課もそれを踏

	まえて計画を作成していきます。真に必要な施設を作り、動かしていきたいと考えておりますので、地域と行政が一体となった計画が作成できることを祈念いたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。 最後になりますが、皆様には日々大変お世話になっておりますことをこの場をお借りして重ねてお礼申し上げます。本当にいつもありがとうございます。
事務局	５．委員の紹介 ６．会長、副会長の選出 ７．会長あいさつ
事務局	８．協議事項 （１）播磨町高齢者福祉計画（第11次）及び介護保険事業計画（第10期）について事務局より説明
委員	播磨町は、この３つの地域の類型のうち、どこに該当するという想定になっていますか。
事務局	３つの類型のうちのどこに当たるかという点ですが、中山間地域でもなければ大都市部でもないというところで、一般市に当たると見込んでおります。 後から人口推計が出てくるのですが、中山間地域においては、高齢化率が40%近く、もしくは超えていたりするところもありますが、播磨町においてはそういうわけでもないという点も含めて、一般市に当たってくると認識しております。
委員	ありがとうございます
事務局	（２）計画策定のためのアンケート調査結果報告について事務局より説明
委員	22ページの「介護人材について」のアンケートですが、従業員が不足している傾向にあります。実際に各事業所さんは人材不足にどのように対応されているのか、分かれば教えてください。 町で取りまとめているようでしたらそれでも結構です。例えば不足している部分を人材派遣で補っているとか、従業員の位置づけが常勤なのか非常勤なのかちょっと分かりませんが、従業員が時間外勤務をして対応しているとか。その状況をお聞きしたい。
事務局	今回のアンケートを基に、対応状況などを細かく分析・取りまとめは、まだできていない状況です。 今日は施設の関係者の方々もお越しいただいておりますので、現場の実態や工夫

	などをお伺いしたい。
会長	順番にお聞きしてもよろしいでしょうか。
委員	事業所の施設長が集まると、大体「人材不足」の話になります。まだ播磨町や加古郡はマシな方だと思いますが、加古川市の北部とかでは人材紹介会社に多額の紹介手数料を支払って採用している状況と聞いています。 また、外国人人材も、彼らの中でSNSや独自のネットワーク、情報交換が非常に活発で、少しでも給与の高いところを求めて転職するなど、非常にシビアな状況が起きていると実感しています。 ハローワークの職場見学会などでは、こちらから出向いて、当事業所の取組や職場の魅力のプレゼンテーションをするのですが、求職者は雇用保険を受給するため参加するとポイントをもらえるようで、説明だけ聞いて帰られるという方が多いです。見学に来る求職者もいますが、見学でもポイントが貯まるらしく、個別の話は聞かず、お帰りになってしまう状況です。 応募する方もいますが、まずは見学をさせてくれ、と言われます。求職者が施設を決めるというか、求職者側が優位という、つらい状況が続いております。
委員	人員的には足りてはいるかと思います。ただ、ケアを充実させるためには、人員がさらに必要で、ハローワークや人材紹介会社を活用して求人しています。紹介会社に募集をかけると、紹介料という経費が必要になってくるため、なかなか厳しい面があります。
委員	求人をしていますが、インターネットを見る人が多い状況です。インターネットを通じて紹介会社を利用し、紹介料を払って人員確保はできてはいます。ただ、環境に馴染めない人もいて、人員の安定という面では、限界があるのが現状です。 賃金面でも限界があります。人材確保と安定というのが、常に課題になっています。資格取得支援もしていますが、なかなか難しい状況です。
事務局	ありがとうございます。
委員	ありがとうございました。傾向としては、以前と変わらず人材不足という状況ですが、播磨町の場合は加古川市と比べるとまだマシという状況だと思いました。 ８期計画策定時にも、事業所で介護職員の採用が難しいという傾向の中で、行政も事業所とタイアップして、介護人材の雇用につながる支援、あるいは職業のフェア等の試みを考えてみてはどうですか、という意見を出しました。

事務局	研修の受講費用に対して播磨町が支援しています。 今回、播磨町で就労・就業体験をされると聞いています。また、県の社会福祉協議会が、介護人材・介護職に対しての体験・就職会みたいなのをされる、ということをお伺いしております。そのような取組も広報に載せながら、まずは介護職へ関心を持っている方に対して PR ができたらと思っています。 各施設とタイアップなどできたらと考えていますが、まだまとめられていない状況です。
委員	去年に町役場で、ハローワークと共催で、就職フェアを開催していただいています。加古川のハローワークへ播磨町から行くとなると、加古川市の求職者がほとんどとなってしまいます。 昨年は播磨町で就職フェアが開催され、多くの方に来ていただき、そのうちのお１人が就職に繋がったという嬉しい実績があります。 小学校の福祉学習の一環として、特養の方に来ていただいて、そのあとに発表会がありました。利用者さん、高齢者さんに出かけていって、おじいちゃん、おばあちゃん、それから子どもたちとの交流を続けています。 フェスに出店した時に子どもさんが見に来てくださるなど、少しずつ顔と顔を合わせてお話をする機会ができてきています。多くの人に協力をいただきながら、介護職への理解を深めていければと考えています。 介護の仕事は、本当に素晴らしい仕事と思っております。介護の仕事について、広報に特集を組んで取り上げていただくなど、いろいろとご協力いただいて、本当にありがたいことだと思っております。これを続けることが、何より大事だと考えております。
事務局	（３）人口の推移と推計について事務局より説明 ※質疑無し
事務局	９．その他　次回策定委員会の開催日程について事務局より説明
委員	１点、要望があります。 次回の第２回委員会ですが、次回、第2回ですが、分量も多いと思いますので、できれば資料を事前に郵送いただければありがたいです。
事務局	ありがとうございます。できる限り早期の発送・郵送準備を心がけます。
会長	これをもちまして閉会とさせていただきます。 それでは、進行を事務局にお返しします。

事務局	大田会長、ありがとうございました。 最後に、福祉保険部部長の長谷川よりご挨拶申し上げます。
事務局	失礼いたします。本日はご多用中にもかかわらず、また暑い中ご出席いただき、誠にありがとうございました。 策定委員会につきましては、今後４回予定しているところですが、 この計画を策定するにあたりまして、住民の皆様にとって、介護が必要な方達については「介護保険制度」によって支えていくことが基本でありますが、高齢者１人ひとりの願いといたしましては、介護を必要としない健康で自立した生活を、自宅で送りたいとの思いが強いものと認識しております。 そういったことを踏まえた、本町の実情に沿った、実りある次期計画を策定していきたいと考えていますので、引き続き皆様のご指導賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。 本日は、誠にありがとうございました。